

飛蚊症

患者様情報

来院されるまでの症状

- ・右目の視力が左に比べて悪く、時々視界に小さい虫が飛んでいるように見え、思わず手で払ってしまいます。
- ・また、月に1・2回ぐらい、仕事を休みたくなるほど辛い頭痛にみまわれるという症状を訴えられて来院なさいました。

患 者 様	20 代 男性
初 診	2013 年 5 月
既 往 症	偏頭痛
他 の 症 状	眼精疲労、足先の冷え

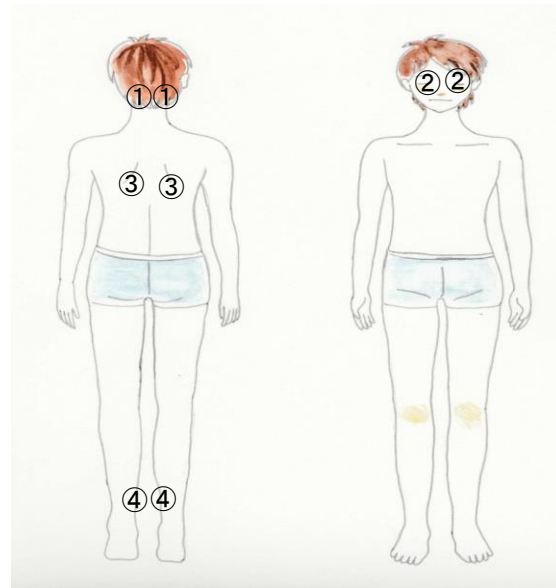
四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・仕事中にパソコン画面をずっと見ているためか、首と肩の凝りが酷いようでした。
- ・眼精疲労や頭痛など上半身の症状で悩まされている方に特徴的な足の冷えも顕著にみられました。
- ・上半身に偏っている気を下半身に下げ足の冷えをとり、首周りを緩める施術を行いました。

■ 初診後の経過

- ・定期的に診療を続けていただき、3回目の受診後には、足の冷えも落ちつき、視界に虫が飛ぶ現象もなくなってきたとのことでした。
- ・現在は、予防と全身の巡りを調整するために、月1回の受診を継続しています。



使用した主要なツボ

- ①天柱（テンチュウ） ②晴明（セイメイ）
③膏肓（コウコウ） ④三陰交（サンインコウ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・仕事でもプライベートでもパソコンをよく使う方は、常に目が酷使されている状態にあります。
- ・こうして蓄積された疲労は次第に慢性化し、症状として自覚されなくなってしまうため、さらに重い疾患へと発展しがちです。
- ・今回もただの肩凝りが飛蚊症や頭痛にまで発展してしまった症例のひとつといえるでしょう。
- ・仕事の内容や量を調整することは現実的に難しいと思いますので、月2回ほどの定期的な鍼灸施術を通して、仕事等で酷使した身体の調整をすることをお勧めします。